

のんびり
歩こう

フットパス ガイドマップ



小野市

きすみの自然散策コース

豊かな自然と歴史あるきすみの地区を散策

おすすめ時期

- ・3月下旬～4月上旬 前谷川の満開の桜並木
- ・10月下旬 きすみの祭
- ・冬季 鴨池のバードウォッチング

距離 5.2 km

時間 3 時間 00 分

ROUTE GUIDE

きすみの地区に残る城跡や寺社をめぐりつつ、地区全体に広がる自然を楽しみながら周遊するコースです。「コミュニティーセンターきすみの」を出発し、左手に小野アルプスを見ながら、田園風景の中を西へ向かいます。沿道では、秋にはコスモスやそばの花が一面に広がる様子を見ることができます。来住城跡や養父寺を巡った後は東に U ターンし、再び田園風景の中を進み、JR 加古川線を越えて、常楽寺に向かいます。さらに JR 小野町駅を通過、春は満開の桜並木を楽しめる前谷川沿いを進み、鍬溪温泉へ向かいます。小野町駅や鍬溪温泉では本格手打ちそばが楽しめます。鍬溪温泉からは折り返してスタート地点の「コミュニティーセンターきすみの」へ戻ってゴールです。途中少し足を延ばすと、ボートでの遊覧や渡り鳥の観察ができる鴨池があります。周辺のカフェでひと休みしつつ、きすみのの自然をより深く楽しむことができます。健脚の方はしっかり準備した上で小野アルプスの縦走とともにコースの散策はいかがでしょう。

交通アクセス



JR加古川線「小野町」駅下車後、
徒歩で約10分



山陽自動車道「三木小野IC」
から約10分

見どころ・立ち寄りどころスポット・施設紹介

1 コスモス畑・そば畑



きすみの地区営農組合が栽培するそばの花やコスモス、麦などの景色は壮観です。10月下旬の「きすみの祭」では新米や野菜の直売、露天販売もあり、多くの方で賑わいます。

3 養父寺

ようぶじ



黄檗宗の寺で薬師如来を本尊とし、元は聖徳太子が建立した福聚山東明寺でしたが延宝六年(1678年)に再建。本堂正面の石造九重層塔(1348年)は、中世の供養塔として貴重なものです。

5 来住村道路元標



道路元標は、道路の起終点を示す工作物のこと。大正時代の旧道路法では、市町村に一個ずつ設置するように定められ、役場の前か主要な道路の交差点などに設置されていました。

7 前谷川の桜(染井吉野)並木



地元自治会の取り組みによって300本以上の桜(染井吉野)の木が植樹され、春には鮮やかな桜並木が川沿いの景色を彩っています。

9 鴨池(男池)



毎年冬頃になると、シベリア方面から鴨などの渡り鳥が飛来しその様子を見ることが出来ます。夏には貸しボートやキャンプも楽しめます。



2 来住城跡



正和二年(1313年)、清和源氏多田満仲の子孫来住惟友によって築かれたと言われていますが、後の戦で城主が戦死して以降、廃城となりました。現在も主郭や土塁が残っています。

4 常楽寺



本堂脇に「蝮(はめ)塚」というお堂があります。紺仁という人がマムシの毒の消滅を祈願した修行のとき仙人から守り札を授かり、これを祀る堂を建てたという由来があります。

6 ぷらっときすみの/蕎麦処



JR小野町駅に隣接し、地元産のそば粉で作る「本格手打ちそば」が看板メニュー。風味や香りが抜群。関西駅そばランキング1位に輝いたことも。



8 鍬溪温泉きすみのの郷

くわたに



400年以上の歴史がある源泉(塩の井)を後世に残すため、地域の方々により平成30年に再オープン。湯上りには本格手打ちそばが楽しめます。



10 小野アルプスの紅山

へにやま



むき出しの岩盤の山肌に、橙色の苔(地衣類)が生えていることが名前の由来です。標高も183mと低くて登りやすく、多くの登山客が訪れます。



〈凡例〉 食事・休憩 お問い合わせ

兵庫県北播磨県民局加東土木事務所
☎0795-42-9383 / E-mail katodoboku@pref.hyogo.lg.jp

FOOTPATH ROUTE MAP

